

令和 7 年度 教科等指導主事研修会

教科等部会 1

小・中学校「総合的な学習の時間」部会

令和 7 年 7 月 1 1 日（金）
熊本県教育庁市町村教育局義務教育課

令和 7 年度 第 1 回教科等担当指導主事研究会
【教科等部会 2】

小・中学校「総合的な学習の時間」部会

テーマ
質の高い探究的な学びを実現するための教師の指導性と深い学びとの関連

1	説明	質の高い探究的な学び
2	演習	教師の指導性と深い学びとの関連
3	説明	① 学力調査と探究的な学びの関連 ② ICT活用で期待できる質の高まり

資料

小学校編



中学校編



高等学校編



教育課程部会 教育課程企画特別部会（第8回）配付資料 2025/5/22（文部科学省HP）

【資料1-1】論点資料⑦質の高い探究的な学びの実現（情報活用能力との一体的な充実）

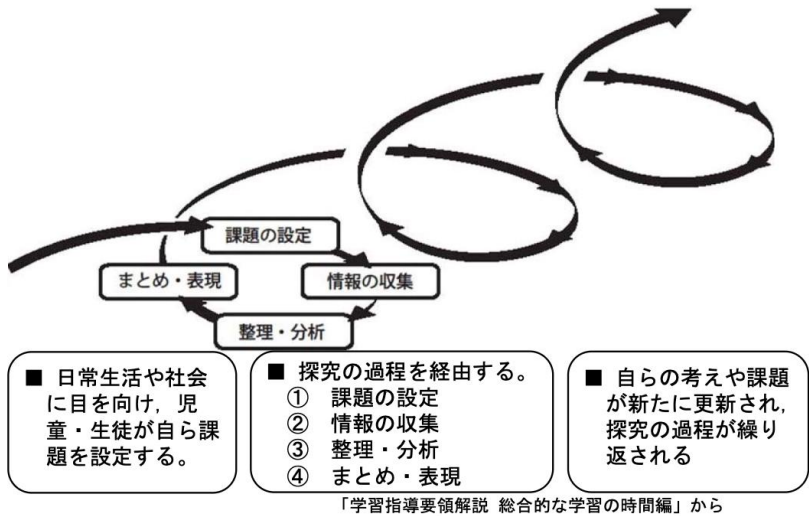
【資料1-2】田村学主任視学官発表資料「総合的な学習（探究）の時間の変遷と質的転換」

1 質の高い探究的な学び

探究的な学習における児童・生徒の学習の姿（探究のプロセス）

探究的な学習の4つの学習過程

- ① 課題の設定
体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- ② 情報の収集
必要な情報を取り出したり収集したりする
- ③ 整理・分析
収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- ④ まとめ・表現
気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

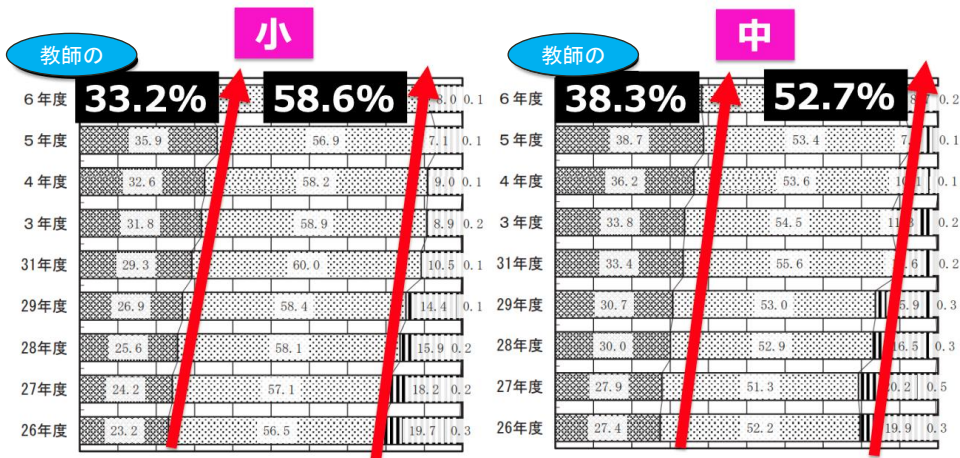


「学習指導要領解説 総合的な学習の時間編」から

5

全国学調

探究の過程を意識した指導を「よくしている」教師は増加傾向（3～4割）
（「どちらかといえば、よくしている」を含めると9割超）



【出典】令和6年度全国学力・学習状況調査報告書(質問調査)P. 64
正確な質問は「調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか」

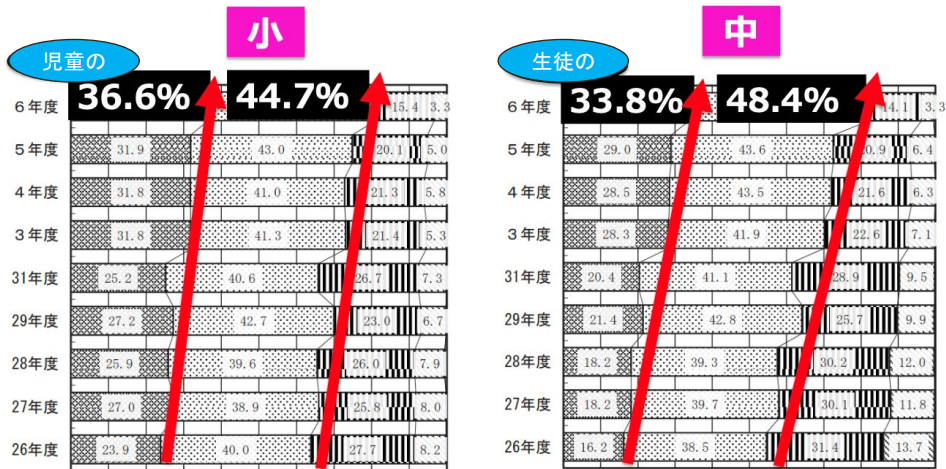
6

全国学調

探究的な学習活動に取り組んでいますか？

「当てはまる」生徒は増加傾向（3～4割）

（「どちらかといえば、当てはまる」を含めると8割超）



【出典】令和6年度全国学力・学習状況調査報告書(質問調査)P. 35

正確な質問は「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」

7

学習指導要領を踏まえて、総合的な学習の時間の目標と内容を設定する

第1の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

1 目標

各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の目標を定める。

2 内容

各学校においては、第1の目標を踏まえ、各学校の総合的な学習の時間の内容を定める。

各学校で定める目標や内容は、以下の第2の3（1）（4）・（6）を踏まえる

ポイント

- (1) 各学校において定める目標については、各学校における教育目標を踏まえ、総合的な学習の時間を通して育成を目指す資質・能力を示すこと。
- (4) 各学校において定める内容については、目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を示すこと。
- (6) 探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力については、次の事項に配慮すること。
 - ア 知識及び技能については、他教科等及び総合的な学習の時間で習得する知識及び技能が相互に関連付けられ、**社会の中で生きて働くもの**として形成されるようにすること。
 - イ 思考力、判断力、表現力等については、課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現などの探究的な学習の過程において発揮され、**未知の状況において活用できるもの**として身に付けられるようにすること。
 - ウ 学びに向かう力、人間性等については、**自分自身に関すること及び他者や社会との関わりに関することの両方の視点**を踏まえること。

ポイント

第1の目標、各学校の教育目標を基に、各学校の総合的な学習の時間の目標、内容、学習活動を定める

8

学習指導要領を踏まえて、資質・能力と学習活動の関係性を捉える

資質・能力と学習活動と関係は、以下の第3の1(2)・(4)を踏まえる

- (2) 全体計画及び年間指導計画の作成に当たっては、学校における全教育活動との関連の下に、目標及び内容、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価の計画などを示すこと。
- (4) 他教科等の目標及び内容との違いに留意しつつ、第1の目標並びに第2の各学校において定める目標及び内容を踏まえた適切な学習活動を行うこと。

中学校学習指導要領での記述

小中学校の接続は、第3の1(2)を踏まえる

- (2) 全体計画及び年間指導計画の作成に当たっては、学校における全教育活動との関連の下に、目標及び内容、学習活動、指導方法や指導体制、学習の評価の計画などを示すこと。その際、小学校における総合的な学習の時間の取組を踏まえること。

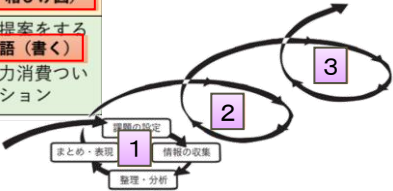
ポイント

全体計画及び年間指導計画から、資質・能力と学習活動の全体像を把握する

指導計画として具体的に書き表す

例 探究課題 エネルギー問題と、限りある資源を未来の世代に残すための取組 教科等横断的な学び

	1 小単元1(15) エネルギー問題について考えよう	2 小単元2(20) 自分たちも節電に取り組もう	3 小単元3(15) 持続可能な取組にしよう
課題の設定	エネルギー問題と自然環境の共生はできるのだろうか。	自分たちも節電に取り組んで、効果を検証しよう	地域全体で節電に取り組む企画書を作成しよう
情報の収集	様々な発電方法について調べる 太陽光発電施設を見学する 設置業者にインタビューする 国語(話す・聞く)	効果的な節電方法について調べる エネルギーの自給自足に取り組む人にインタビューする 自宅で節電に取り組む	地域の人の節電に対する意識調査をする 地域アンケート
整理・分析	太陽光発電のメリット・デメリットについて整理・分析する	効果的な節電方法について、各家庭の取組状況を踏まえて検証する 数学(データ活用/予測)	地域が一斉に消灯する活動に対する地域アンケートを分析する 数学(データ活用/箱ひげ図)
まとめ・表現	エネルギー問題と私たちの暮らしについてをテーマにレポートに書く 国語(書く)	自宅でできる節電について、成果と課題を明らかにするために意見交換する	持続可能な取組とする提案をする 主張文、手紙を書く 国語(書く) 社会における発電と電力消費についてのパネルディスカッション



より洗練された質の高い探究

高度化した探究

- 【整合性】 探究において目的と方法が一貫している
- 【効果性】 探究において適切に資質・能力を活用している
- 【鋭角性】 焦点化し深く掘り下げて探究している
- 【広角性】 幅広い可能性を視野に入れながら探究している

自律的な探究

- 【自己課題】 自分にとって関わりが深い課題になる
- 【運用】 探究のプロセスを見通しつつ、自分の力で進められる
- 【社会参画】 得られた知見を生かして社会に参画しようとする

総合的な探究の時間を充実させるためには、小学校や中学校等との接続を視野に入れ、違いを明確に意識すると同時に、連続的かつ発展的な学習活動が行えるよう目標を設定することが重要である。

【事例】より洗練された質の高い探究（探究の高度化・自律的な探究）

塩の中にマイクロプラスチックがあるの？

文部科学省『今、求められる力を高める総合的な探究の時間の展開（高等学校編）』

世界の環境汚染に関心をもった生徒は、マイクロプラスチックによる海の環境汚染に着目した。
この生徒は、プラスチックによる海の環境汚染が進んでいるならば、海塩にマイクロプラスチックが含まれているのではないかという仮説を立てた。仮説を検証するため、関係機関と連携し、濾過実験の残留物の元素分析を行った。
実験結果を整理したり分析したりする場面では、個別の実験結果と文献から推測したり、比較したりして、科学的な根拠に基づいて分析した。
濾過実験では、マイクロプラスチックを見付けることができなかったため、実験方法を変更した。
このように、生徒は試行錯誤を繰り返しながら、ついに海塩からマイクロプラスチックを検出するに至った。
こうして得られた調査結果を、生徒は論文にまとめるとともに、マイクロプラスチックの危険性を広く訴えた。
今回の探究を通して、生徒は環境汚染への関心を深め、海洋生態系や物質循環について更に学ぶための進路について考えるようになった。

<高度化した探究>

- 【鋭角性】 環境汚染の問題をマイクロプラスチックの問題に焦点化している。
- 【整合性】 海塩にマイクロプラスチックが含まれているかどうかを確かめるために妥当な方法を選択している。
- 【効果性】 理科の実験等において身に付けた資質・能力を効果的に活用している。
- 【広角性】 一つの仮説が否定されても、他の可能性を模索し、新たな仮説を立てて探究している。

<自律的な探究>

- 【運用】 自らの力で課題を更新し続けている。
- 【社会参画】 探究を通して得られた知見を生かして社会に関わろうとしている。
- 【自己課題】 取り組んだ課題が自分にとってより深い課題となり、自身の進路選択にもつながっている。

2 教師の指導性と深い学びとの関連 ～演習～

13

「深い学び」とは

小学校（中学校）学習指導要領 総則

●第3 教育課程の実施と学習評価

1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

（1）＜略＞児童（生徒）が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習の充実を図ること。

○知識を相互に関連付けてより深く理解したり

○情報を精査して考えを形成したり

○問題を見いだして解決策を考えたり

○思いや考えを基に創造したり

14

演習

「深い学び」になっている場面と、そのために発揮されている「教師の指導性」を考える。

事例③ 単元名：第6学年「ふるさとの駅弁開発プロジェクト」（70時間扱い）

図 1-1-1 地域生産と消費の循環

地域生産と消費の循環は、地域生産と消費の循環を促進するための重要な要素である。地域生産と消費の循環は、地域生産と消費の循環を促進するための重要な要素である。

事業の目標

人口減少や観光客の減少等の問題を抱える地域がもって悩むように、地域の特産品や活性化に取り組みむる人の取組を誘ったり、地域の特産品を使った商品を開発して発信したりする活動を通して、地域の活性化に取り組みむる人の思いや願いに気づかせ、持続可能な地域の在り方について、地域の一員として進んで行動しようとするようにする。

作品の分類		題名・主題	登場・表現・表現	主体に与る影響と教育意義
①	小説	①城崎町に生れた山・川の自然が育ちを生み出した作品が主である。それらが主であるが主として自然が主である。それらが主であるが主として自然が主である。	①城崎町に生れた山・川の自然が育ちを生み出した作品が主である。それらが主であるが主として自然が主である。それらが主であるが主として自然が主である。	①城崎町に生れた山・川の自然が育ちを生み出した作品が主である。それらが主であるが主として自然が主である。それらが主であるが主として自然が主である。
		②城崎町に生れた山・川の自然が育ちを生み出した作品が主である。それらが主であるが主として自然が主である。それらが主であるが主として自然が主である。	②城崎町に生れた山・川の自然が育ちを生み出した作品が主である。それらが主であるが主として自然が主である。それらが主であるが主として自然が主である。	②城崎町に生れた山・川の自然が育ちを生み出した作品が主である。それらが主であるが主として自然が主である。それらが主であるが主として自然が主である。
②	小説	③城崎町に生れた山・川の自然が育ちを生み出した作品が主である。それらが主であるが主として自然が主である。それらが主であるが主として自然が主である。	③城崎町に生れた山・川の自然が育ちを生み出した作品が主である。それらが主であるが主として自然が主である。それらが主であるが主として自然が主である。	③城崎町に生れた山・川の自然が育ちを生み出した作品が主である。それらが主であるが主として自然が主である。それらが主であるが主として自然が主である。
		④城崎町に生れた山・川の自然が育ちを生み出した作品が主である。それらが主であるが主として自然が主である。それらが主であるが主として自然が主である。	④城崎町に生れた山・川の自然が育ちを生み出した作品が主である。それらが主であるが主として自然が主である。それらが主であるが主として自然が主である。	④城崎町に生れた山・川の自然が育ちを生み出した作品が主である。それらが主であるが主として自然が主である。それらが主であるが主として自然が主である。

「深い学び」
の姿を見つけて
授業者に
伝えましょう！

先生が～～することで、児童が
～～しているから、～～な深い
学びの姿が見られるのですね。

～～の場面で～～な深い学びができて
いますね。
先生が～～されているからですね。

探究的な学習の4つの学習過程

- ① **【課題の設定】**
体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ
- ② **【情報の収集】**
必要な情報を取り出したり収集したりする
- ③ **【整理・分析】**
収集した情報を、整理したり分析したりして思考する
- ④ **【まとめ・表現】**
気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

深い学び

- 知識を相互に関連付けてより深く理解したり
- 情報を精査して考えを形成したり
- 問題を見いだして解決策を考えたり
- 思いや考えを基に創造したり

「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」【小学校編】P104・105

15

単元の展開		ねらい・学習活動		知	思	察	評価方法
小単元名(時数)							
現状を調査 地域の活性化に 向けた取組を考えよう (20)	・地域の玄関口である駅に出かけ、駅長の話を聞いてみる。駅周辺の様子を見学したりする。 ・地域の商店街の様子を調べたり、過去と現在の様子について調べたり、地域の方々から話を聞いたりする。 ・地域がもつ特徴やよさを調べる。 ・調べた分かったことを整理して、地域の現状を明らかにする。 ・地域の活性化に向けて、自分たちにできることを考える。	①					・ノートの記述 ・発言内容
地域の食材を使っ たオリジナル駅弁 をつくろう(30)	・地域が進めている活性化の在り方を調べたり、関係機関から話を聞いたりする。 ・全国の駅弁等について調べ、特徴を整理する。 ・駅弁を作るために知りたいことを出し合ひ、生産者のインタビュー等で情報を収集する。 ・栄養教諭や観光課の方、地域に訪ねてみる観光客等に自分たちの駅弁の意見をもたらし、活動の方向性を見いだすために整理分析する。 ・駅弁についての意見を踏まえ、完成した駅弁のPR内容や方法を考える。	①	②				・ノートの記述 ・発言内容
自分たちの取組を振 り返り、地域の活 性化と自分たちの関 わりについて考えよう (20)	・自分たちの活動を振り返るとともに、地域の「特産品や活性化の取組と自分たちの関わり」について考える。 ・他の地域の取組等と調べ、自分たちの地域にも生かせるような取組を考えたりまとめたりする。 ・関係機関と協働しながら、持続可能な活性化に向けたアイデアをまとめ、「地域MIRAIノート」にまとめる。		②				・ノートの記述 ・行動観察 ・発言分析
				①			・ノートの記述
				③	④		・ノートの記述

○問題を見いだして解決策を考えている。

○知識を相互に関連付けてより深く理解している。

- ・調べて終わりではなく、調べたことと聞いたことを結びつけている。

○知識を相互に関連付けてより深く理解している。

- ・外部と連携し、適切なタイミングで、適切な人と出会わせている。

○情報を精査して考えを形成している。

・駅弁で地域を活性化させるという
目的を焦点化して、整理・分析をさ
せている。【鋭角性】

・他教科の学びを活かし、データをグラフに表したり、見やすく表に表したりする。【効果性】

○問題を見いだして解決策を考えている。

・駅弁を作って終わりではなく、自分と関係づけた持続可能な地域活性化の取組をさらに考えさせている。【社会参画】

・自分ごととして課題を見出せるよう、
現地での実体験をきっかけに探究をス
タートさせている。

○問題を見いだして解決策を考えている。

・課題を見出すために、過去と現在を比較させたり、駅長の話、地域の人などいろいろな立場から考えさせたりしている。

○知識を相互に関連付けてより深く理解している。

・町づくりという視点だけでなく、栄養面という新たな視点からも考えさせている。【広角性】

- 思いや考えを基に創造している。

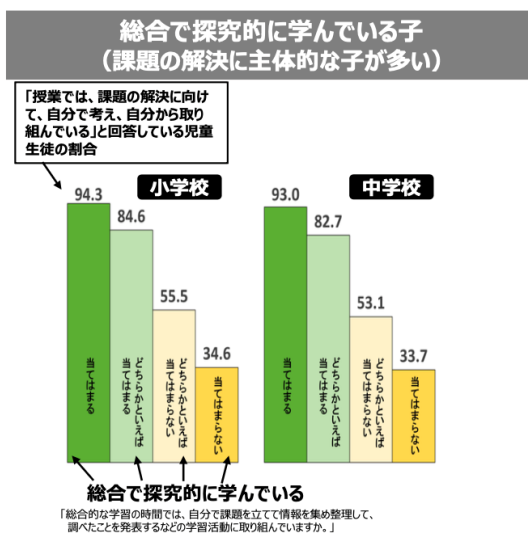
・学習してきたことを活用してまとめ・表現をさせている。まとめ・表現の方法を選択させている。

16

3 ① 学力調査と探究的な学びの関連

17

R6全国学調 「探究的な学び」に取り組む児童生徒は、授業で「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」割合が高い傾向

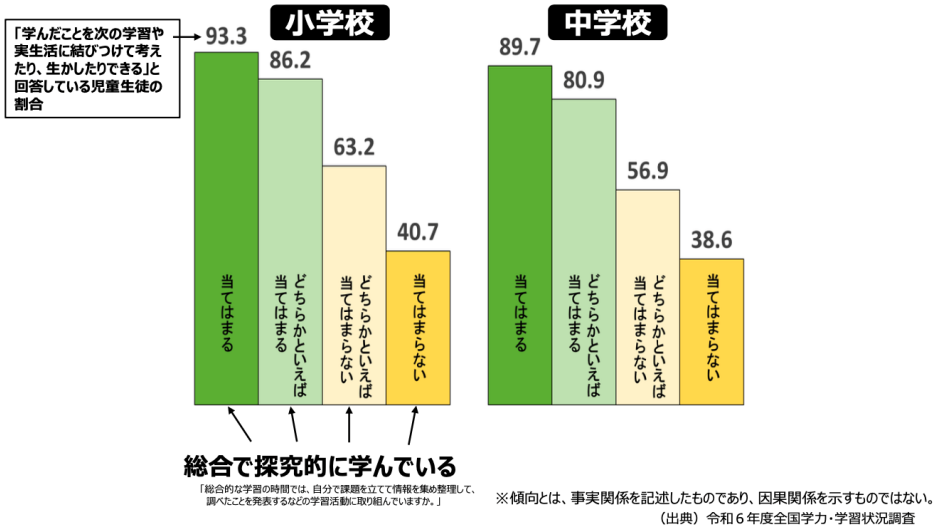


※傾向とは、事実関係を記述したものであり、因果関係を示すものではない。
(出典) 令和6年度全国学力・学習状況調査

18

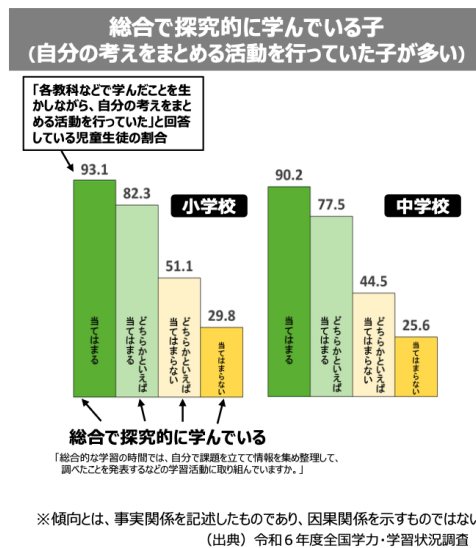
R6全国学調

「探究的な学び」に取り組む児童生徒は、授業で学んだことを「次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりできる」割合が高い傾向



R6全国学調

「探究的な学び」に取り組む児童生徒は、「自分の考えをまとめる活動を行っていた」割合が高い傾向



3 ② ICT活用で期待できる質の高まり

21

ICT活用で期待できる質の高まり

容易に

頻繁に

スピー
ディに



①課題の設定

多様な課題に出会うことができる
データ等で課題を明確化し、課題解決の見
通しを鮮明にできる



②情報の収集

多種多様な大量の情報を、高速に、時
間や空間を超えて収集・蓄積できる

④まとめ・表現

豊かな表現を短い時間で作成し、広く発信し
たり、自らの学びを振り返ったりできる



③整理・分析

多様で大量で複雑な情報の整理や、整理
した情報の加工・分析が容易になる



22